

絵本とライブ パパ、読んで!!!

男女共同参画基礎講座「父親の家庭参画」編として、「絵本とライブ『パパ、読んで!!!』」が8月24日（日）、ラトブ6階のいわき産業創造館企画展示ホールで開かれました。市男女共同参画センターと総合図書館の主催、県男女共生センターの共催で、安藤哲也さん（NPO法人Fathering Japan代表理事）の絵本の読み聞かせとミュージシャンの西村直人さん（同法人社員）によるミニライブを行いました。

会場には、子どもたちとその父親ら約80人が集まり、ギターとウクレレを使ってミュージカルのように絵本を読み進む場面では、手拍子をしたりおまじないを合唱したりして楽しさいっぱい絵本の世界を満喫しました。

また、最後に安藤さんが「父親が家にいて、家族と会話をしていだけで、子どもは、社会を学ぶはずだ。子育ては、すぐ終わってしまう。仕事も、子育ても、介護も、地域活動も、寄せ鍋のように何でも楽しくやっておもう。」とメッセージを送り、参加した父親たちも熱心に耳を傾けていました。



安藤さんの外見と絵本を読む姿のギャップが面白く、大人でも楽しむことができました (30代父親)

もう絵本は読まないけど、二人が読むとすごくおもしろかったです (小5)

わが子がしっかり聞いていることにおどろきました (30代父親)

いろんなえほんとうたがよかったです (幼稚園)

子どもの一瞬はその時にしか見られない大切な輝きなのだと、改めて思いました (30代父親)

～この日の絵本～
「きよだいな きよだいな」
「うんちっち」
「三びきのやぎのがらがらどん」ほか
～この日の歌～
「おふるばで」 ほか

◎参加者の声◎ いわき市中央台 菅野 雄貴さん(28歳)と陽向(ひなた)さん

以前からFathering Japanに関心を持っていたので、チラシを見てすぐ申し込みました。父親も育児に参加するべきだと考えていたのですが、実際子どもをもっとみると、仕事との両立はなかなか難しいです。でも、今日の安藤さんの『寄せ鍋論』は、とてもヒントになりました。時間の余裕は、心の余裕ということですから、まず早く家に帰るところから始めます。

私は保育にかかわる仕事をしているのですが、パパだからこそ読める〔怖さを教える絵本〕があると知りました。『寄せ鍋』の考え方など今日学んだことを、子どもたちのお父さんたちに伝えます。